

要 望 書

小議第108号

令和8年7月2日

小川町長 島田 康弘 様

小川町議会議長 高瀬 勉



「老人クラブ」との意見交換をふまえた施策推進に関する要望

議会広聴特別委員会では、住民の声を町政へ反映させる取組の一環として「健康と生きがい」をテーマに、小川・大河・竹沢・八和田の4地区の老人クラブの皆さまと意見交換会を実施した。当日は、高齢者の社会参加、地域コミュニティの維持、生きがいづくり、健康増進活動の継続など、これからの地域づくりに関わる多くの意見が寄せられたところである。

議会は、それらの「声」を真摯に受けとめ、必要な施策の推進及び予算措置を講じられるよう、下記事項について要望する。

記

1 老人クラブ活動への継続的な支援の充実

老人クラブは、高齢者の健康づくりや交流促進、地域における支え合い活動など重要な役割を担っている。一方で、会員減少や活動継続への課題も生じていることから、各老人クラブが安定的かつ継続的に活動できるよう、支援制度の充実及び事務負担の軽減等を図られたい。

2 おがわいきいきシニアポイント事業の拡充

高齢者が積極的に地域活動へ参加することは、健康寿命の延伸、生きがいづくり、地域活力の向上につながる重要な取組である。当該事業については、ポイントに係る対象や付与数の見直しを図るとともに、より多くの高齢者が参加しやすい・参加したいと思える制度となるよう拡充を進められたい。

3 公共施設を利活用した高齢者交流拠点の確保

高齢者が日常的に集い地域とのつながりを実感できる機会は、健康づくりや生きがいづくりの観点からも重要である。現在進められている公共施設等総合管理計画をふまえ、今後生じる学校跡地を含めた公共施設全般の利活用について、高齢者をはじめ地域住民が継続的に交流できる場の確保を検討されたい。

今次の意見交換会で寄せられた「声」は、地域で暮らす高齢者の率直な思いや考えであり、今後の町政運営において十分に尊重されるべきものである。特に、高齢化率が4割を超える当町において、高齢者が健康を維持し、生きがいを持ちながら地域の中で安心して暮らし続けられる環境を整えていくことは、今後の町政運営における極めて重要な政策課題である。

町執行部においては、本要望を十分にふまえ、高齢者福祉の充実のみならず、持続可能な地域コミュニティの形成という観点から、必要な施策の推進及び次年度以降の予算編成への着実な反映を図られるよう強く要望する。

以上